

蕨市議会だよりナンバー225 2024 年 3 月発行号

表紙写真、今回の表紙は、市民公園の桜の写真です。透き通るような青空と一面に咲くたくさんの桜が本当にきれいです。今年も開花が待ち遠しいですね。

ぜひ、今後の参考のために市議会だよりについての感想やご意見をお聞かせください。

蕨市議会広報広聴委員会

電話番号 048-433-7733

FAX 番号 048-432-7991

12 月定例会

令和 5 年 12 月定例会は、新庁舎が開庁して初めての議会となりました。会期は、11 月 28 日から 12 月 18 日までの 21 日間で開催され、初日には市長報告等が行われました。

一般質問では、13 名の議員が市政の重要課題を問いました。（4～10 ページ参照）

最終日には、陳情 1 件を不採択とし、追加議案 3 件を含む市長提出議案 16 件を原案のとおり可決したほか、蕨市立病院事業会計補正予算に対する附帯決議として議員提出議案 1 件を原案のとおり可決しました。さらに、蕨市立病院の建替え整備に関する調査を継続して行うことを目的に、「蕨市立病院建替え整備特別委員会」を設置して閉会となりました。

議員提出議案第 8 号

「令和 5 年度蕨市立病院事業会計補正予算（第 1 号）」に対する附帯決議」を全会一致で原案可決

今定例会では、「令和 5 年度蕨市立病院事業会計補正予算（第 1 号）」に対する附帯決議」が議員提出議案として提案され、全会一致で原案のとおり可決しました。

市立病院の移転での建替えについては、新たに民有地を取得することは難しいことから、西公民館及び老人福祉センター松原会館と隣接地を一体的に活用して整備すること、西公民館と松原会館の移転先については、市民の方からご寄附をいただいた錦町 5 丁目に複合施設として整備する案が示されました。

また、議案第 87 号「令和 5 年度蕨市立病院事業会計補正予算（第 1 号）」では、建替え後の新病院における診療機能・病床規模等の基本的な考え方を整理する基本構想の策定と、全体計画や建築計画等を整理する基本計画の策定に伴う費用が計上されました。

市議会では、本補正予算案を可決した後、市立病院の建替え整備における意見や要望を表明するために、附帯決議を議決しました。附帯決議の全文は次のとおりです。

附帯決議とは、法的拘束力はないものの、可決された案件に付ける意見や要望のこと。

附帯決議の全文

蕨市立病院事業会計補正予算案として、市立病院整備基本構想及び基本計画策定支援業務を委託するために、予算額 3 9 6 0 万円が計上されている。

市立病院は中核病院として、地域医療の拠点として、また市内唯一の救急病院として、市民から求められる期待は大きく、重要な役割を果たしていることは言うまでもない。

現在の市立病院は建築から 50 年以上が経過し、老朽化が進んでいるばかりでなく耐震性に問題があることから、建替えが喫緊の課題であることは言をまたないが、事業の進め方については議会・市民への一層の情報提供が必要である。

本定例会において市立病院の建替え候補地が示された。市立病院の現状を考慮すれば事業を速やかに進めていく必要があるものの、議会、市民、地域医療関係者、有識者等の意見を広く聞くとともに、十分な議論を尽くす必要がある。今後、数十年の活用を鑑み、巨額の公金を投じる新たな病院の建設事業において性急に事を進めることは必ずしも賢明ではない。

議会としても、未来にわたって市民の健康を守り続けるとともに、パンデミックや震災等の天災時の市民の安全の砦として市民に誇れる素晴らしい病院を整備するために、本市においてはこの予算を執行するにあたり、次の項に取り組んでいくよう、強く求めるものである。

- 1 市立病院移転に係る審議会の設置及び予算措置を行うこと。市立病院の建替えは喫緊の課題であるが、性急に事を運ぶことのないよう、議会、市民、有識者など関係者から広く意見を聞くこと
- 2 地域医療を守るため、候補地や市立病院の在り方と医療連携の在り方など、必要な内容について医師会との協議を行うこと
- 3 基本構想の策定にあたっては、策定に係る経緯を明らかにするとともに、常に情報発信に努め、審議会などの意見について十分な検討を果たすこと
- 4 市立病院の建替えの場所の決定にあたっては、地域住民、利用者団体、施設関係者の十分な理解が得られるよう、丁寧な説明を行うとともに対話を重んじ、要望等に対しては真摯な対応を以って必要な措置を講じること
- 5 どの場所に建て替える場合でも、市内各地からアプローチできる手段を検討すること
- 6 市立病院として地域の医療提供体制において果たすべき役割・機能を見直し、明確化、最適化すること
- 7 具体的根拠を有する実現可能な経営強化策、経営計画を策定すること
- 8 将来の市民の負担とならぬよう、また病院の健全経営を進めるにあたって足枷とならないよう、適切な事業規模を見極めること

「蕨市立病院整備検討審議会」の設置

市立病院の建替え整備に関する議会での審議状況を踏まえ、今定例会最終日に、市立病院の整備に関して必要な検討・審議を行う「蕨市立病院整備検討審議会」を設置するための条例案と同審議会の委員報酬を支給するための補正予算案が追加議案として提出され、原案のとおり可決されました。

「蕨市立病院建替え整備特別委員会」の設置

市議会では、「蕨市立病院建替え整備特別委員会」を設置しました。市立病院の建替え整備に関する調査を今後も継続して行います。

委員構成

委員長	まえかわ やすえ議員	副委員長	すずき さとし議員
委員	すずき しんのすけ議員		えのもと かずたか議員

とちもと よしかね議員

ほんだ ていこ議員

12月定例会の主な議案の内容

蕨市将来構想の策定

今年度をもって計画期間が終了する「コンパクトシティ蕨将来ビジョン」に続く、新たな将来ビジョンの核となる蕨市将来構想を定めます。

本構想は、社会経済情勢が大きく変化していくなかにあって、市民と行政とが共有すべき未来の蕨市のまちづくりを総合的・計画的に進めるため、蕨市が目指すまちのビジョンや方向などを示すものであります。また、今後10年間で蕨市が目指すべき「将来のまちのビジョン」を「安心・にぎわい・未来、みんなで創る、みんなにあたたかい、みんなのまち蕨」とし、それに基づく7つの分野別の目指す姿、4つのまちづくりの重点方向を示したものとなります。

今後は、主な取り組みを示す基本計画を策定し、令和6年度から新たな将来ビジョンに基づく取り組みを実施していきます。

信濃わらび山荘の廃止

昭和62年8月に開設した信濃わらび山荘は、35年以上にわたり多くの市民の皆さんに利用されてきましたが、施設の老朽化や利用者の減少に伴い、施設を廃止することとなりました。信濃わらび山荘の廃止に伴い、ふれあい交流協定を結ぶ群馬県片品村・栃木県大田原市への宿泊費助成などの代替事業の検討を進めます。

市政を問う！一般質問

12月定例会では、12月12、13、14日の3日間で13人の議員が市政に対する一般質問を行いました。

ごみの全世帯への戸別回収の実現を

しょうの こうじ議員（しんしょうかい）

議員 ごみの集積所については、「ごみ出しのルールが守られていない」「曜日の違うものが捨てられている」「カラスに荒らされてごみが散乱してしまう」など、市民の方からいろいろなお声をいただく。ごみ集積所の管理は、基本的に地域の町会や自治会などのコミュニティで行われているが、町会の高齢化がさらに進んでしまうと、管理などが難しくなっていくのではないかと考えている。そこで、全世帯への戸別回収を行う予定はあるのか。

市民生活部長 ごみ集積所を取り巻く課題、多様化するライフスタイル、高齢化の進展など社会情勢の変化を踏まえ、今後どのようにごみの収集体制を維持していくべきか、先行自治体の事例を参考にしながら、本市の実情に合った事業内容を調査・研究したい。

議員 メリット・デメリットがあり、なかなか難しいのが現状かと思うが、今後を見据えてごみの全世帯への戸別回収を検討していただきたい。

駅前送迎保育ステーションについて

議員 送迎保育ステーションは、駅前などの利便性の高い場所に設置され、複数の保育園への送迎や、保護者が迎えに来るまでの一時預かりを行うもので、希望する保育園に入れないなどの課題を改善するために始まった事業である。蕨駅前に送迎保育ステーションを設置する考えはないか。

健康福祉部長 実施している市町村の多くは、駅前の保育園の利用希望が多く、駅から遠い保育園は定員に空きが生じている状況であり、本市での必要性は低いと考えている。

議員 兄弟が別の保育園に通って苦労している方もいる。子育て世代の負担軽減のために、ぜひ検討してほしい。

新庁舎について

議員 市の事業を周知するような掲示スペースが少ないのではないか。

総務部長 掲示物をよく整理して見やすい掲示を心がける。

議員 各課に行かなくても済むような総合的なパンフレット置き場を設置してはどうか。

総務部長 研究課題としたい。

議員 キッチンカーを呼ぶなど市民が気軽に来て、簡単に情報を得られるような情報発信の場にしていただきたい。

ほかに 「市民課の混雑状況」について質問。

元気な高齢者が安心して生活するために

高齢者シェアハウスについて

こばやし りき議員（しんしょうかい）

議員 高齢化が進み、単身高齢者が増加する中で、利用者同士で助け合いをする高齢者向けシェアハウスは、自宅と介護施設の中間的な住まいとして利用者に喜ばれている。今後、高齢者シェアハウスの需要は増加すると思うが、高齢者向けシェアハウスに運営の補助金を支給するなどの支援を検討してはどうか。

健康福祉部長 高齢者の住まいの形態としては、軽費老人ホームや高齢者世話付住宅、有料老人ホームなどがあり、高齢者向けシェアハウスの運営に対して補助等の支援を実施する場合、他の民間高齢者向け施設への支援の対応などに課題があることから、他市の実施状況などを踏まえ、調査・研究していきたい。

議員 市民の方から高齢者シェアハウスへの入居希望の声を聞いている。実際にさいたま市にあるシェアハウスを訪問したが、高齢者が生き生きと楽しそうに生活している姿を目の当たりにした。ぜひとも前向きに検討してほしい。

市立病院の移転建替えについて

議員 病院の立地条件が病院経営に多大な影響を及ぼすことが想定されるが、移転候補地における現在の医療需要をどのように考えているのか。

病院事務局長 現在地と移転先候補地までの距離は直線で約500メートルと近いことから、現在地との大きな変化はないものと考えている。

議員 移転建替えの機会を捉え、南部保健医療圏における市立病院の役割と機能を改めて見直すと

ともに、良質な医療を継続して提供していくための安定した病院経営、また候補地における病院の適正規模等の見地から、病院機能の最適化、いわゆる病院規模のダウンサイジングを検討する考えはないか。

病院事務局長 当院が目指す医療の方向性は、蕨市立病院将来構想でお示ししたとおり、病床数130床の急性期を担い、現在の医療提供体制を維持していくことを基本的な考えとしている。

議員 市立病院の移転については、市民の方からいろいろな意見を聞いている。審議会を設置して検討していくうえで、市民の皆さんの意見を聞きながら、同じ方向を向いて着実に進めていただきたい。

ほかに 「市職員の必要な部署への増員」「市内の交通安全対策」について質問。

蕨駅西口陸橋下駐輪場の自転車ラックの仕様変更について

おかだ みきお議員（しんしょうかい）

議員 市営駐輪場の自転車ラックの使いやすさについて市民の声を聞いたことはあるか。

市民生活部長 上段ラックの引き出しや持ち上げに苦勞するといった意見等を伺っている。こうした意見に対して、可能な範囲で出し入れしやすい別の場所に移動いただく等、柔軟に対応している。

議員 使いやすさと収容効率を両立した自転車ラックに変更する考えはあるのか。

市民生活部長 多額な費用が見込まれることから、引き続き調査・研究をしていく。

議員 女性でも簡単に収納できるように、下段にはスライドラック、上段には垂直ラックというものに内容を一新し、市民の要望を踏まえて改修されることを切に願い要望する。

空き家、空き店舗の対策について

議員 空き店舗の現状についてはどのようなか。

市民生活部長 令和5年3月で61軒との調査結果がある。

議員 空き家の敷地内にある雑草や樹木の繁茂等への対応をどのように考えているのか。

市民生活部長 所有者等が判明した場合には不良状態を改善するよう指導する旨の文書を発送しているが、所有者に連絡が取れない空き家で、ハチが巣をつくって安全性の観点から撤去した事例がある。緊急性が伴うものについてはしっかりと対応していきたい。

議員 空き家、空き店舗の有効活用を促進するため、除却後の土地に対する固定資産税の減免制度を導入する考えはあるのか。

総務部長 課題があり導入は難しいと考えている。

令和4年度水道事業会計決算について

議員 収益的収支が赤字になった理由はどのようなか。

水道部長 急激な電力費の高騰等による支出増に加え、コロナ禍の影響で給水収益が減少したことが主な理由である。

議員 水道料金未納者の状況と対応についてはどのようなか。

水道部長 令和4年度末の水道料金未納者は調定件数で約2万5000件であり、そのうち納入期限を経過したものは約4500件程度である。未納者へは段階を追って通知を送付し、それでも納

入や納入相談がなかった場合は停水執行を行っている。

議員 さらに市民の方の支払いがスムーズになるような調査研究を行っていただきたい。

成人健診センターにおける健康診断について

やじま さとこ議員（公明党）

議員 現在、保健センター内の成人健診センターで市民の健康診断を実施している。市立病院が直営で健診を行うことにより、市民の健診への意識向上につながると考えるが、市立病院建替えの際に健診事業を導入する考えはないか。

病院事務局長 病院内で健診業務を行うには、収益性や利便性等を精査すること、健診スペースの確保等が必要となるため、病院の機能や外来との兼ね合いなども踏まえて検討していきたい。

議員 健診事業は医療経営を支える重要な役割を担い病院の収益アップにつながると言われている。近年、人間ドックや健康診断を受診する人の割合は上昇傾向にあり、1度受診した人は翌年も同じ病院で受診することも多い。本市の委託業務管理料も減額となり、市立病院の収益向上、市民の健診率向上にもつながる。健診事業の導入をぜひ検討してほしい。

災害時要配慮者の対応について

議員 災害時における治療食や食物アレルギー除去食等の要配慮者に対して、管理栄養士が連携して対応ができるよう相談体制の構築はできているか。

健康福祉部長 平常時は、県主催の研修会等を通じて本市における体制整備の検討や関係機関との関係づくりに努めている。災害発生後、本市の体制では対応しきれない場合は、県及び県栄養士会からの協力が検討されるものと認識している。その局面に応じた対応が重要であり、要配慮者の方への支援体制も含め、緊急時にも計画的に食生活支援が行えるよう、支援体制の構築に向けて研究していく。

アクティブシニアについて

議員 65歳以上のアクティブシニア層が、介護現場・子育て支援拠点・障がい者支援拠点等で、健康で生きがい活動ができる「アクティブシニアボランティアポイント事業」を市が実施することについてどのように考えるか。

健康福祉部長 本市は現在まで導入には至っていないが、ボランティア活動の一助となるものと考えている。ポイントが付与される活動内容や、ポイントを利用することができる範囲、多くの分野にわたる事業との連携等が必要であることから、今後先進自治体の事例等を参考にしながら導入について検討していきたい。

消防体制の充実について

とちもと よしかね議員（しんしょうかい）

議員 地方交付税に係る消防費基準財政需要額に対する当初予算及び決算額の割合について、県内各市との比較はどうか。

消防長 県内で比較すると本市は低い傾向にある。

議員 市民の安全・安心のために必要な消防費をしっかりと確保し、いざというときに備え、消防力を維持するための指針としてほしい。また、消防費基準財政需要額の中で算出するところの多くは人件費である。定年制度の改正及び育児休業の取得等、働き方改革を踏まえ、人員確保はどのようなか。

消防長 消防職員の条例定数は88名、実員数は85名であり、現在、定年後に再任用等で就業している職員はいない。育児休業については、今年度中5名が取得した。職員が育児休業等を取得することにより、勤務体制に必要な人員が確保できない場合は、消防署の日勤職員等が当直勤務を行う等の対応をしている。定年延長により体力面などの理由から現場での活動が困難となる60歳以上の職員の増加が見込まれ、また育児休業の取得がさらに増加した場合には、現場活動職員の人員確保が厳しくなると懸念する。

議員 組織体制づくりを進めていく必要があり、消防力が減退しないようにしていくための工夫や、60歳以上の職員が意欲を持って働ける体制についての検討もお願いします。

南町桜並木の樹木及び施設管理について

議員 桜の現状及び樹勢維持への対応、また桜並木を未来につなげるための対策はどのようなか。

都市整備部長 樹木の延命化と樹勢の維持を図るため、エアレーションや施肥による土壌改良及び計画的な剪定を行っている。現在、樹木医による樹木点検を委託しており、結果を踏まえながら将来的な対応を検討していく。

議員 施設管理について、ベンチの設置状況及び注意事項等の表示状況と、今後の周知方法についてはどのようなか。

都市整備部長 散歩時等の休憩や地域コミュニティの場の提供、高齢者等が安心して外出できる環境づくりとしてベンチを設置している。注意喚起看板は劣化や破損が見受けられるため、今後は視認性のよいイラスト等を用いた看板にするほか、景観に配慮した設置位置や注意内容の集約等、効果的な設置方法を検討する。

市立病院

オンライン診療導入と予約システムの充実を

ひき こうじ議員（しんしょうかい）

議員 オンライン診療導入と予約システムについてはどのようなか。

病院事務局長 新型コロナ感染拡大時の発熱外来を実施する中で、確定診断が必要な患者を想定したオンラインでの診療体制を限定的に整えた。オンライン診療は専任医師の確保等課題が多いが、患者にとって有益であるため、引き続き調査・研究を行っていく。予約システムについては、かかりつけ患者に関しては内科、外科、産婦人科等で次回の診察予約を行っている。現時点では一部の診療科のみの予約となっているが、予約は待ち時間の解消として非常に有効だと考えており、病院全体のシステムの中で運用を考えていきたい。

社会福祉センターに隣接するメリット、事業拡大について

議員 市立病院の移転候補地として、総合社会福祉センターに隣接する案が示されたが、メリットはどのようなか。また、事業拡大についてはどのように検討されているのか。

病院事務局長 総合社会福祉センター内には、地域包括支援センターや訪問看護ステーションがあり、介護と医療の連携でよりつながりが深まるのではないかと思います。高齢者医療を考えると、在宅医療等が必要となってくるため、前向きに考えていきたい。産後ケア事業等については、当院の2階にある産婦人科病棟のベッドを活用して1月から実施していく予定である。

わらび電子図書館について

議員 電子図書の利用実績と具体的な利用方法はどのようなか。また、人気の電子図書はどのようなか。

教育部長 令和4年8月より利用を開始し、年度末までの8か月の利用実績は延べ1万2743人、延べ1万6490冊である。利用方法は、図書館で図書館利用券を発行し、インターネットでわらび電子図書館のウェブサイトアクセスしていただく。そして図書館利用券に記載のIDを入力すると利用できる。雑誌の人气が高く、次いで児童書の利用回数が多かった。

議員 サービスの充実はどのように図られているのか。

教育部長 令和4年11月より、小・中学校の児童・生徒に学校用IDを配付し、学校での朝読書等で活用できるサービスを開始するなど、充実を図っている。

市民体育館前広場の床面タイルの補修を

えのもと かずたか議員（無所属）

議員 昭和55年にオープンした市民体育館前の広場の床面タイルがひどいので、何とかしてほしいという声を受けることがある。改修すると費用はどのくらいかかるのか。

教育部長 タイル張りで全面改修するには、以前取った見積もりで6300万円以上であり、今はそれ以上の費用がかかると思われる。

議員 点字ブロックの上にカラーコーンが置いてあったり、いくらなんでもひどいというところが多くある。今必要な箇所だけでも早急に補修すべきではないか。

教育部長 市全体のこともあるが、きちんと把握して進めていきたい。

錦町スポーツ広場には日陰がない

議員 フットサルやグラウンドゴルフなどで利用される人工芝の錦町スポーツ広場は木陰等もなく、暑い日には逃げ場がないという利用団体の方の声がある。熱中症等の対策のため、ベンチに屋根をつけるなどの考えはないか。もし実際に屋根をつけた場合、試算はどれほどか。

教育部長 必要性については認識しているが、市全体の財政状況や施策の優先度等、総合的に検討する必要があり、実際に屋根を付けると400万円程度かかる。

議員 広場にテントを持ち込むことは可能だが、全ての利用団体が持参しているわけでもない。簡易的なものの設置等も含め、何かしらの対応が必要ではないか。

市長 利用者も年々増えている中で、いろいろな団体の利用がある。来年の暑い時期に向けて何らかの対策が必要なので、検討したい。

国民健康保険税、介護保険料値上げしないで

議員 頼高市政でも国保税や介護保険料の値上げが行われている。介護保険料の今後の見通しは。

健康福祉部長 介護保険給付費準備基金残高が7億7500万円あるので、それを活用するとともに介護予防事業にも力を入れて取り組みたい。

議員 国保税の見通しは。

市民生活部長 国保税水準の県内統一に向けた26%の乖離を解消していくのが第一。

議員 少なくとも県内統一水準とされる令和9年までは値上げしないよう努力すべきだ。

ほかに 「蕨郵便局立てこもり事件における市及び教育委員会の対応」について質問。

アクティブシニアを増やそう

市の介護予防施策を問う

おおいし けいこ議員（しんしょうかい）

議員 8年経った「いきいき百歳体操」は、市内19会場となったが、コロナ禍後の参加者が3分の1まで減り、サポーターの増加もない。サポーター支援も含めた市民主体の運営をどのようにサポートしていくのか。

健康福祉部長 現状、市が実施している支援としては、理学療法士などのリハビリ専門職の方の団体派遣を行い、参加者などの運動指導や体力測定等を行っているほか、地域包括支援センターにおいては、運営についての相談対応や活動状況の把握に努めている。今後の支援については、サポーターや参加者の皆さんからの要望を踏まえて検討したい。

議員 介護予防は、生活習慣病予防からの切れ目のない健康づくりの延長である。そのための保健センター・医療保険課・健康長寿課の連携状況はどのようなか。

健康福祉部長 特定健診については医療保険課が実施しているが、健康長寿課が実施する介護予防教室等の案内を医療保険課が送付して参加を促すなど、効果的な事業となるよう連携に努めている。また、認知症予防では、精神保健分野の担当である保健センターと高齢者の相談窓口である健康長寿課や地域包括支援センターが認知症の疑いのある高齢者の情報を共有し、早期に対応を図るなどの連携を取っている。

議員 介護予防として、「歩きたくなるまち」のための環境整備が重要である。その一つとして、コロナ禍前に行われた市民公園のウォーキング大会の復活も検討してほしい。

子どもたちが自分の体を「大切にすること」「守ること」について

議員 公立保育園、小・中学校において性教育も含めてどのように学んでいるのか。

健康福祉部長 保育園では、子どもの発達段階に合わせ、「自分の体のだいじなところ」という言葉で教えるなど、日常の生活の中で自分の体を大切にすることを学んでいる。

教育長 学校では、特別の教科道徳、特別活動、体育科などで自分の体を大切にすること等を学ぶ機会を設けている。

議員 小・中学校では、SNS等で性犯罪に巻き込まれないための知識をどのように教えているのか。

教育長 生活指導等において、SNSで知り合った人と会うことの危険性などについて、事例を挙げて指導をしている。

蕨の未来を考える！ 蕨市立病院建替え事業とそれに伴う移転事業について

まえかわ やすえ議員（しんしょうかい）

議員 耐震性に問題があるとされてきた市立病院については、移転建替えの候補とされる場所が提示された。建替えに反対するものではないが、性急に物事が進められている経緯に戸惑いがないと言ったらうそになる。病院はどのような経営改善をしなければならないのか、診療科目の検討などをしないで検討を進めたとは思えない。移転建替えを決定した際、経営改善をどのように考えたのか。

病院事務局長 今議会に基本構想及び基本計画の債務負担行為の補正予算案を提案したが、その計画の中において、内部環境や外部環境などの調査を行い、そうしたデータ分析も併せて用いながら、診療の在り方など、経営の強化につながる立案・助言・指導をいただくことが重要であると考え、今回の基本構想及び基本計画の中に経営コンサルの要件も盛り込んでいる。

議員 市立病院の移転に伴う西公民館と松原会館の移転についてはどのようなになるのか。

病院事務局長 市民の方からご寄附いただいた錦町5丁目の土地に、両施設を複合施設として移転できる可能性がある判断し、今後課題点を整理しながら移転整備への検討を進めていくこととなる。

議員 多額の費用がかかる事業であり、将来負の遺産にならないようにする責任がある。経営状況の分析が重要であり、課題を共有しながら進めていける状況をつくっていただきたい。

観光協会の体制強化について

議員 観光協会は、お祭りをはじめ、まちの魅力の情報発信や発掘など、まちづくりに欠かせない存在である。そのような観光協会の職員体制が整っていないと聞いているが、状況はどうか。また、今後の活動についてはどうか。

市民生活部長 昨年9月から10月にかけて、職員が相次いで退職されたことから、一時的に市職員が対応した。現在では事務補助員数名が配置され、観光協会業務を引き継いでいる。今後もこれまでと同様の活動を実施していくものと考えており、市としても、いっそうの連携を深め、お祭りやイベント等の観光事業に取り組みたい。

議員 観光協会には観光のイベントだけでなく、まちづくりに力も注いでいただきたいので、そういった観点での人材の登用を検討してほしい。

市内小・中学校の老朽化について

すずき しんのすけ議員（日本維新の会）

議員 市内小・中学校の老朽化している学校施設の現状と対応はどうか。

教育部長 市内の学校施設は、校舎などの建物の多くが建築から40年を経過し、各学校では定期的かつ日常的な点検を行い、老朽状況等の把握に努めている。また、施設の長寿命化の方向性等が示されているので、引き続き施設の現状把握などに努め、今後の対応を検討していきたい。

議員 第二中学校の外壁の汚れを放置したままの状態となっているが、対応はどうか。

教育部長 優先順位が高いと判断し、今年度、第二中学校校舎の外壁・屋上防水改修工事の設計委託を実施しているので、次年度以降、改修工事に向けて準備を進めている。

議員 西小学校体育館の屋根から雨漏りがしているが、対応はどのようなか。

教育部長 降雨状況等により、一時的な吹き込みが発生する可能性も考えられるため、今後も降雨時の現状把握に努め、対策が必要な場合には適切に対応していきたい。

市立病院の建替えについて

議員 新しい建替え場所の候補地について、市民との話し合いは行ったのか。

病院事務局長 まず病院の現在地及び移転先の町会長さんなどへのご説明をさせていただいたほか、西公民館を利用する団体や錦町コミュニティセンターの委員の皆さんを対象に説明会を行った。松原会館の利用者への説明については社会福祉協議会理事の皆さんなどへの説明会を行った後、日程を調整して開催をする。また、線路を挟んだ東エリアと西エリアに分けて、1月に2回、市民の皆さんを対象とした説明会を開催したい。

本市の防災演習について

議員 以前、防災演習に参加したときに、ブルーシートが冷たくて座っていられなかった。町会の方々だけパイプ椅子ではなくてブルーシートの理由はなぜか。

市民生活部長 町会、自主防災会の皆様については、当日まで正確な参加者数を把握できない場合があることなどから、例年ブルーシート上にお座りいただいている。一定の防寒対策を行っているが、お申し出をいただいた場合は、予備のパイプ椅子をご利用いただくなど、可能な限り、適宜柔軟に対応している。

ペットとくらすシニアの備えサポートを

やまわき のりこ議員（共産党）

議員 介護保険を利用した際にケアマネジャーによる「シニアとペットの安心したくらしのためのチェックリスト（仮称）」等を用いて、いざという時の対応を考えておくべきだと思うがどうか。

健康福祉部長 チェックリスト等を用いた、いざという時の対応は、高齢者がペットと暮らしていくために重要であると認識している。現時点では、年々ケアマネジャーの業務量が増加しており、その負担を考慮する課題もあり、先進市の制度導入後の状況等を調査・研究していきたい。

市長 大事な課題である。しっかり問題意識を持って、考えて取り組んでいきたい。

発達障害児をめぐるトライアングル支援の充実を

議員 未就学児の発達支援について、本市の取り組み状況はどのようなか。

健康福祉部長 障害の早期発見から早期療育につなげるための取り組みとして、乳幼児健康診査や保護者からの相談支援を実施している。医療機関の受診や保健センター等への相談を経て、児童発達支援等のサービスの利用を開始する流れとなる。当該児童に関わる機関が連携し、利用開始後の状況把握や今後の支援の方向性について等、継続的な支援を行っていく。

議員 家庭と教育と福祉の連携を図る「トライアングルプロジェクト」についての検討はどうか。

健康福祉部長 就学前から学齢期、社会参加に至るまで、切れ目なく支援していく体制を整備していくことは重要である。地域自立支援協議会を活用し、福祉関係機関、教育関係機関においての情報共有と連携強化に努めている。学校と障害児通所施設の連携の必要性や、学校及び保護者等への福祉制度の周知等、情報提供の重要性についても課題として認識しており、引き続き課題の解消に

ついて取り組みを進めていきたい。

議員 市長マニフェストにも「発達障害の子への支援拡充」とあるが、市長の見解はどうか。

市長 トライアングル支援による連携は非常に大事である。保護者への支援や課題、提案を受けて、さらに充実した取り組みを行っていきたい。

ほかに 「ケアハウス松原の広報」「子育て支援の充実を」について質問。

こども基本法・災害対策・市立病院の移転費用について

かなまる けんじ議員（しんしょうかい）

議員 こども基本法が施行されたが、本市でのこども計画策定の予定はどうか。

健康福祉部長 令和6年度中に策定し、令和7年度からの実施で検討している。

議員 こども基本法第11条には「こども施策の策定・実施・評価の際には、こども・養育者・関係者の意見を反映する」と記載がある。当事者の子どもの声を深く聞くことで、不登校支援などでも、施策が質的に向上し、利用者増や、子ども達の可能性が更に広がる好事例も有るが本市の考えは。

健康福祉部長 子どもの声を広く聞くと同時に、深く聞く、上げにくい声を聞いていくことは重要だと考える。こども施策に関係する大人や職員が、子どもの意見を反映させる意識を持つことも重要なため、全庁的に周知を図りたい。

大災害時の被害予想・自助の推進の必要性について

議員 本市での地震・洪水での被害予想はどのようなか。

市民生活部長 最大の被害が想定される東京湾北部地震では全壊490棟・半壊1383棟・焼失27棟、死者26人・負傷者219人。洪水では市の全域が浸水する恐れがある。

議員 市民に必要な備えと現状はどのようなか。

市民生活部長 3～7日分の備蓄が望ましいとされている。市民意識調査では、市民の約51%が食料・水を備蓄、トイレ処理セットの備蓄は約29%となっているため、引き続き周知が必要と考えている。

議員 市の備蓄状況はどうか。

市民生活部長 主に避難所に居る方を対象に7万3千食を備蓄し、目標は達成している。

議員 市が全市民分を備蓄する限界も理解はできるが、全市民7万5千人が7日暮らすには、市の備蓄では全く足りず、新たな自助の啓発・推進が必要。防災行政無線を使つての周知や、自主防災会が自助を啓発する好事例の共有、各訓練時での周知など、蔵のリスクと対策を伝えてほしい。

市立病院の移転について

議員 現時点での移転建替え費用の総額・起債する場合の期間や利息・財源の想定は。

病院事務局長 現時点の概算となるが、総額61億円を全て起債すると建設関係分の30年間の利息は、約10億6千万円となり、元利償還額のうち5割は市からの繰入を予定。

ほかに 「県南部地域医療構想で望まれる経営強化プラン、市民の声を聞く必要性、地域包括ケア病棟」等を質問。

居心地がよく魅力ある図書館の整備を

すずき さとし議員（共産党）

議員 数十年ぶりの図書館整備であり内容や方針などはしっかり検討され、伝えらえるべき。機能の充実や居心地の良さなどは重要。検討はどのように行われてきたのか。

教育部長 アンケート、ワークショップでの検討、職員の視察による情報収集をしている。駅直結という利便性を生かし多くの人に利用されるよう、充実した閲覧・学習ゾーン、子どもエリア、カフェなど魅力あふれる施設を検討。

議員 幼児・児童書に力を入れてきたが、中高生・ヤングアダルト世代の利用につなぐ工夫が必要。ヤングアダルト世代向けコーナー、居場所スペース、ボランティアや企画参加などについて考えは。

教育部長 新図書館ではヤングアダルトコーナーをしっかりと確保し、グループ学習室を検討。居心地のよい空間も考えたい。蕨高校・武南高校との連携も継続、新たに小中高との連携も検討したい。

議員 再開発で駅前に整備する図書館だが、子どもだけでの利用という視点でデザインや内容など見直す必要はないか。例えば、時間貸駐輪場では児童は使いにくいがどうか。

都市整備部長 安全性に配慮した設計だが、児童という視点で確認したい。駐輪場管理規定の検討では様々な利用状況を想定し協議したい。

市民の願いが活きる市立病院の整備

議員 市立病院はコロナ対応で真価を発揮。その役割は、救急、周産期、地域医療や介護との連携など多岐にわたり極めて大きい。建替えの方針はどのように検討されたか。

病院事務局長 現地・移転について検討を重ね、西公民館などの一体的な敷地を移転先とした案を最も適しているとした。工期が短く整備中も経営に影響が出ないなどが理由。

議員 受け止めには歓迎・不安の双方があり、丁寧な対応が必要。整備では、救急対応の強化、ぷらっとわらびや直通バスでのアクセス対策などを希望。市長の考えはどうか。

市長 大きな役割を果たしてきた。耐震化・老朽化対策を移転建替えで解決するとともに、まちの魅力、強みにもしていく。大変な事業だが財政面も含め、しっかりやりたい。蕨の未来にかかわる大事業であり市民の声をしっかりと生かす。ぷらっとわらびなどでのアクセスについても検討。

ほかに 「障がい者の入所施設整備」について質問。

令和5年12月定例会における議案等に対する賛否結果

多機能型子育て支援センター、子育て支援についての陳情書に対する趣旨採択の動議

新翔会 9名のうち、おおいしけいこ議員・こばやしりき議員の2名が○

その2名の議員を除いた7名の議員が×

共産党○ 公明党× 無所属（えのもと議員）○ 日本維新の会○ 結果否決

陳情第6号 多機能型子育て支援センター、子育て支援についての陳情書

新翔会× 共産党× 公明党× 無所属（えのもと議員）○ 日本維新の会○ 結果不採択

議案第 77 号 蕨市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
新翔会○ 共産党退席 公明党○ 無所属（えのもと議員）× 日本維新の会× 結果原案可決
議案第 78 号 市長及び副市長の諸給与支給条例及び蕨市教育委員会教育長の給与等に関する条例
の一部を改正する条例
新翔会○ 共産党○ 公明党○ 無所属（えのもと議員）○ 日本維新の会× 結果原案可決
議案第 79 号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
新翔会○ 共産党○ 公明党○ 無所属（えのもと議員）○ 日本維新の会× 結果原案可決
議案第 80 号 蕨市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基
づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
全会一致で賛成 原案可決
議案第 81 号 蕨市火災予防条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決
議案第 82 号 蕨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決
議案第 83 号 蕨市立信濃わらび山荘設置及び管理条例を廃止する条例
新翔会○ 共産党○ 公明党○ 無所属（えのもと議員）× 日本維新の会○ 結果原案可決
議案第 84 号 令和 5 年度蕨市一般会計補正予算（第 6 号） 全会一致で賛成 原案可決
議案第 85 号 令和 5 年度蕨市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号） 全会一致で賛成
原案可決
議案第 86 号 令和 5 年度蕨市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号） 全会一致で賛成
原案可決
議案第 87 号 令和 5 年度蕨市立病院事業会計補正予算（第 1 号） 全会一致で賛成 原案可決
議案第 88 号 工事委託協定の変更協定の締結について（蕨こせんじんどうきょう修繕工事委託）
全会一致で賛成 原案可決
議案第 89 号 蕨市将来構想の策定について 全会一致で賛成 原案可決
議案第 90 号 蕨市立病院整備検討審議会条例 全会一致で賛成 原案可決
議案第 91 号 令和 5 年度蕨市一般会計補正予算（第 7 号） 全会一致で賛成 原案可決
議案第 92 号 令和 5 年度蕨市立病院事業会計補正予算（第 2 号） 全会一致で賛成 原案可決
議員提出議案第 8 号 議案第 87 号「令和 5 年度蕨市立病院事業会計補正予算（第 1 号）」に対す
る附帯決議 全会一致で賛成 原案可決
蕨市立病院建替え整備特別委員会設置の動議 全会一致で賛成 可決

議案第 77・83・87・90 号については質疑が、議案第 77・83 号については討論が行われました。
質疑・討論の詳細な内容は蕨市ホームページ「蕨市議会」の「録画放映」からご覧になることがで
きます。

議員研修会

発達障害とは

行政の支援と課題について

市議会では、去る1月23日に公認心理師・臨床発達心理士である松丸しのぶ先生を講師に招き、「発達障害とは～、行政の支援と課題について」をテーマに議員研修会を行いました。今回の議員研修会においては、市議会議員のほか、市職員や関係団体の職員、参加希望のあった市民の方々にもご参加いただきました。

講演では、発達障がい概要の説明から始まり、発達障がい者と行政の関わりについて、先生の経験を踏まえたお話をお聞きすることができました。

講演後の質疑応答では、議員や参加された市民の方々からの質問を受けていただき、多くの学びを得た研修会となりました。

3月定例会の日程（予定）

2月16日、金曜日、開会、委員会

26日、月曜日、代表質問

27日、火曜日、代表質問、議案質疑

28日、水曜日、議案質疑、委員会

29日、木曜日、委員会、分科会

3月1日、金曜日、委員会、分科会

4日、月曜日、委員会、分科会

12日、火曜日、一般質問

13日、水曜日、一般質問

14日、木曜日、一般質問

18日、月曜日、委員会

21日、木曜日、閉会

※議会の都合により日程は変更になる場合があります。

広報広聴委員会を開催しました。

12月14日 「3月発行号の概要、議会報告会について」

2月14日 「3月発行号の最終確認、議会報告会について」

蕨市議会議員のご紹介

令和5年7月から蕨市議会議員は新たな構成でスタートしました。前号の議会だよりから3回にわたり、18名の市議会議員を紹介しています。今号の議会だよりでは、総務常任委員会のメンバー6人を紹介します。

議席番号 10、おおいし けいこ議員（委員長）

趣味①、献血（2 月末現在 483 回）

趣味②、ランニング歴 34 年（フルマラソン国内 14 回・海外 27 回完走、うち海外 2 回入賞）

やってみたいこと、無重力体験

資格、看護師、保健師、養護教諭 1 級、健康運動指導士、思春期保健相談士、弓道 2 段

議席番号 9、とちもと よしかね議員（副委員長）

座右の銘・好きな言葉、われいがいみなわがしなり、ありがとう

趣味・特技、バイクツーリング、そば打ち、ロープワーク(消防救助)

好きな食べ物、麺類（ラーメン・そば・うどん・パスタ）

資格、火薬類取扱・高圧ガス製造保安責任者、陸上・航空無線従事者、衛生管理者

議席番号 1、たけした りょう議員

ニックネーム、たけちゃん

趣味、読書・輪行旅

好きな舞台、ラ・マンチャの男

生活のマイブーム、一汁一菜

これからやってみたいこと、統計調査に関する資格取得

議席番号 8、えのもと かずたか議員

趣味、コーラス（テノール）、紙芝居、将棋、B 級スポット巡り

心がけていること、各議案に納得して賛成・反対する、聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥

好きなパン、ガーリックトースト

議席番号 12、ほんだ ていこ議員

ニックネーム、ていちゃん

好きな食べ物、くだもの

趣味、絵画鑑賞、鉢植えのミカンやレモンの栽培

目標、心の広い人でありたい

これからやりたいこと、世界中にある美術館に行って本物をこの目で見てみたい

議席番号 15 こばやし りき議員

ニックネーム、リッキー

ライフワーク、朝のラジオ体操、子どもの安全見守り隊活動

好きなこと、カフェ ふわりでのゆったりタイム

苦手なこと、スーツでの活動、スーツより作務衣（さむえ）派です

最近のニュース、自分が主人公で描かれた絵本が出版されたこと、ご縁に感謝

編集後記

「主権在民」。市役所の新庁舎も、来年度の予算も、そして市議会も、全て7万5000人の市民一人一人のために在ります。予算が市民のために在るからこそ、次の1年間で「どの目的に、幾ら使うか」が予算案として市民と議会に提示されます。そして、本当に市民に必要なかどうか、多様な価値観を持つ議員が、皆さまに代わり審議します。

また、移転建替え予定の市立病院の「基本構想」が来年3月までに策定される予定です。どの場所に移転すべきか、今も将来にも必要とされ、安定経営となる病院を目指し、市議会でも特別委員会を設置し検討を進めています。是非、皆さまの声を議会へお寄せください。

広報広聴委員会

委員長、おおいしけいこ

副委員長、かなまるけんじ

委員、すずきしんのすけ、おかだみきお、やじまさところ、えのもとかずたか、すずきさとし、おおいしこういち、ふるかわあゆみ